

作成年月日	平成22年6月28日
作成部局	産業労働部産業振興局工業振興課

## 工業技術センターと京都工芸繊維大学の研究等連携に関する協定の調印

### 1 趣旨

播州織の産地振興を図るため、優れた研究実績を有する京都工芸繊維大学繊維科学センター（木村良晴センター長）と兵庫県立工業技術センター（北村新三所長）との間で、平成22年6月30日に研究等連携に関する協定を締結し、新製品の開発などの取り組みを進めます。

### 2 兵庫県立工業技術センターと京都工芸繊維大学繊維科学センターとのこれまでの関わり

- (1) 播州織産地と連携した繊維関連の研究を進めるため、平成19年度から兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センターの研究員が、工織大の特任准教授に委嘱され、大学院生の研究指導を行っています。
- (2) 木村良晴センター長からの「更に連携を深め、播州織産地企業とともに新たな市場開拓を行いたい」との提案を受けて、今回の連携協定締結に至ったものです。

### 3 協定に基づき推進する取り組み等

#### (1) 高級綿による新製品の共同開発

京都工芸繊維大学（以下、「工織大」）を通じて入手可能な海外の高級綿（エジプト綿など）を活用し、柔らかくて肌触りの良い高級品を共同開発する等、中国などアジア製品との差別化を図ります。

#### (2) 世界的水準にある工織大の技術を活かした環境低負荷型繊維素材の共同開発

しわ防止のため使用されるポリエステル素材等に代わる生分解性繊維（例えば、とうもろこし由来の繊維など）を開発する等、環境低負荷型の繊維素材づくりをめざします。

#### (3) 教育・研究交流の推進

- ・ 工織大の研究発表会を東京や神戸で共同開催するなど研究交流を行います。
- ・ 工織大の教員・学生を播州織産地で受け入れ、染色・織布・加工技術に関する実習や調査を行います。

### 4 調印式

- (1) 日 時：平成22年6月30日（水） 午前10時30分～
- (2) 場 所：兵庫県立工業技術センター（兵庫県神戸市須磨区行平町）

※ 京都府・市の繊維関係の各公設試験研究機関に先立って、この度の連携協定が工織大繊維科学センターにとっては、公設試との最初の連携協定となります。

## <参考1> 京都工芸繊維大学繊維科学センターについて

- (1) 平成18年4月に繊維科学並びに繊維技術分野の高度研究を推進する拠点として、京都工芸繊維大学内に繊維科学センターが設置された。
- (2) 工織大は、国際的なネットワークが広く、アジア・アフリカ地域との国際交流プラットフォームを活用することによって、通常では入手困難な海外の高級綿（繊維が長くて、柔らかい特性を持つ綿、例えばエジプト綿など）を入手することができる。この高級綿を活用することにより、現在の播州織をさらに高付加価値化させることが期待できる。
- (3) 木村良晴センター長（現在、(社)繊維学会の会長）は、生分解性繊維に関する研究分野で世界的権威である。この研究は、播州織における環境低負荷型製品の開発に大きく寄与するものと期待される。

## <参考2> これまでの他大学との取り組み

兵庫県立工業技術センターは、これまでも、県立大学工学部・工学研究科との教育・研究面での連携協定（21年12月締結）、神戸大学連携創造本部との連携協定（16年4月締結）のもとに各種の連携事業を行っている。

### (1) 県立大との連携

研究員が大学（工学部・工学研究科）で客員教授として講義、学生が実習・研究で工業技術センターを活用、共同研究の実施、出前講座・成果発表会・技術相談の共同開催 等

### (2) 神戸大学との連携

新たな材料開発等の共同研究の実施、成果発表会・技術相談の共同開催 等

## 【問い合わせ先】

兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター TEL：0795-22-2041  
(兵庫県西脇市野村町1790-496)

兵庫県立工業技術センター技術企画部 TEL：078-731-4157  
(兵庫県神戸市須磨区行平町3-1-12)



代表的な播州織見本